

2017 年本屋大賞はどの作品に輝くか！？

毎年話題となる、全国の書店員が選ぶ『本屋大賞』が、2月末をもって二次投票を終了し、あとは結果発表である4月11日（火）を待つのみ、となりました。

芥川賞を受賞した村田沙耶香/著『コンビニ人間』や、直木賞を受賞した恩田陸/著『蜜蜂と遠雷』などを含め、人気作家の作品がずらり。さて、栄冠はどの本に輝くのでしょうか！？

ノミネート 10 作品

『i』西加奈子/著 ポプラ社（F二）

『暗幕のゲルニカ』原田マハ/著 新潮社（F八）

『桜風堂ものがたり』村山早紀/著 PHP 研究所（Fム）

『コーヒーが冷めないうちに』川口俊和/著 サンマーク出版（Fカ）

『コンビニ人間』村田沙耶香/著 文藝春秋（Fム）



『ツバキ文具店』小川 糸/著 幻冬社（Fオ）

『罪の声』塩田武士/著 講談社（Fシ）

『みかづき』森 絵都/著 集英社（Fモ）

『蜜蜂と遠雷』恩田 陸/著 幻冬社（Fオ）

『夜行』森見登美彦/著 小学館（Fモ）

休館日

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

は本館の休館日です

3月のギャラリー

『書道展 ～碧南より 愛をこめて』

期 間：3月1日（水）～30日（木）

提 供：美和クラムスクール

& りんご接骨院

※ギャラリーの展示は17時までです。

編集後記

3月といえば桃の節句。子どもの頃は饅頭の上に桃・黄・緑に染められたお米がちょこんと乗った「伊賀饅頭」をよく食べていましたが、これが三河地方の郷土菓子だと大人になってから知りました。うーん、久々に食べたいなあ（お）

けやきどおり通信（No.282）

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057

碧南市鶴見町1-70-1

TEL：(0566) 41-0894



けやきどおり通信



2017年3月 ～NO. 282～

プロフェッショナルに 学べ！



さまざまな分野で活躍するプロフェッショナルたち。

彼らの仕事に対する姿勢や、生き方、考え方を知ること、なにか見えてくるものがあるはず！ また、そんな匠たちの技が生み出した作品の数々もあわせてご紹介します。

『プロフェッショナルの鉄則』 五木 寛之、冨木 彩乃/聞き手 扶桑社（914イ）

テレビ番組からの書籍化第2弾。
五木寛之と冨木彩乃が、さまざまな分野のプロフェッショナルに迫る。
ゲストは俳優・三上寛、美術家・横尾忠則、歌手・谷村新司など。

『一流を育てる 秋山木工の「職人心得」』 秋山 利輝/著 現代書林（366.8イ）

迎賓館や宮内庁に注文家具を収めている職人集団「秋山木工」。その人材育成の根底には、礼儀、感謝、気配りなど私たち日本人が昔から大切にしてきた教えがあった。

『本づくりの匠たち』グラフィック社編集部/編 グラフィック社（749ホ）

グラフィックデザイナー・名久井直子が、本作りには必要不可欠の“印刷、加工、技術の現場にでかけ、匠たちが培ってきた細やかな気遣いや仕事ぶりを紹介する。

『Move!』 造事務所/編 情報センター出版局(159 ム)

成功の秘訣や、失敗の原因、そして自らの転機や決断について、経営者・開発者・科学者・アスリートなどの様々なジャンルのプロたちが語る。

『銀座のフロは世界一』 須藤 靖貴/著 日本経済新聞出版社(672 ギ)

世界の名店が集まる街・銀座。洋服仕立て、和傘作り、碁盤土、バーテンダーにショコラティエ。名店が名店たるためには、熟練の職人が居てこそ。彼らの高い技術や、豊かな発想を紹介する。

『匠の国日本』 北 康利/著 PHP 研究所(750 タ)

匠＝職人。はるか神話の時代から、匠の技は人々に感動と尊敬の念をもたらし続けてきた。日本酒や漆器、和紙、花火など、日本の誇る文化を支える匠たちが重ねる研鑽^{けんさん}に迫る。



『東海^{トウカイ}の天職一芸 1～3』 岡田 稔/文 ゆいぽおと(602 ト)

昭和を支えたたくさんの職人たち。油紙師、手筒花火師、鞆職人に念珠職人……。東海地方にゆかりのある伝統の技に触れながら、職人たちの真摯な生き様を、イラストを多くまじえながら紹介。



『最後の職人伝』 塩野 米松/著 平凡社(384 サ)

合理化が進む時代のなかで、消えていしまいそうな手業がある。もう目にすることができなくなるかもしれない、8人の伝統職人たちの現場ドキュメント。

『百年後の日本に残しておきたい和の手仕事』 安田 多賀子/著 宮帯出版社(750 ヒ)

全国津々浦々、48の和の手仕事に携わるひとたちにインタビュー。風鈴、神輿、ぼち袋など、日本が誇る美しく繊細な作品を生み出す人々は、なにを語るのか。仕事とは、イコール「生き方」であり、自分の「天職」がなにかが分かるかもしれない1冊。

『ホワイトハウスの職人たち』 マイケル・ユー/著 新潮社(317 ホ)

アメリカ大統領の住まいであり、官邸でもあるホワイトハウス。そこには、大統領の生活を支えるための職人たちがいる。フランスきっての菓子職人、アフガン首相の娘だったという理髪師、高級な仕立屋など、6人が登場。彼らが見たホワイトハウスの主たちの姿を語る。



『海上保安庁特殊救難隊』 海上保安庁特殊救難隊編集委員会/編 成山堂書店(557 カ)

海上保安庁において、特殊な任務やさまざまな海難救助にあたる「特殊救難隊」。現職の職員だけでなく、OBたちにも取材し、実際にあった海難救出事例や、過酷を極める訓練の様子などを、貴重な写真を交えて紹介する。

『外資系トップの思考力』 ISSコンサルティング/編 ダイヤモンド社(335 ガ)

ダイソンの麻野信弘、日本マイクロソフトの平野拓也など、10人の外資系トップにインタビュー。彼らはどんな意識を持って自らのキャリアを選び、リーダーとしてどのように仕事に取り組んできたのか。同シリーズとして『外資系トップの仕事力1・2』『外資系トップの英語力』も所蔵。

『一流の人に学ぶ人生で自分の才能を花開かせる方法』

小林 國雄/著 ぱる出版(627.8 イ)

数々の賞を受賞した盆栽作家である著者が、どういう哲学のもとに弟子を育てているかを語る。また、自らの生き方や働き方についても触れる。



『匠たちの名旅館』

平田雅哉、吉村順三、村野藤吾、稲葉 なおと/著 集英社インターナショナル(526 タ)

葦原温泉の「つるや」、京都の「俵屋」、伊豆の「三養荘」などの、戦後の日本を代表する「名旅館」たち。それを作り出した3人の建築家の足跡や、旅館を守り続けてきた関係者の苦闘を叙情的な写真をまじえて綴る。



『偉大な指揮者に学ぶ無知のリーダーシップ』

イタイ・タルガム、ラリー・フルーム/著 土方 奈美/訳 日経 BP 社(336.3 イ)

指揮者でありながら、世界中でリーダーシップとはなにかについての講演や指導を行っている著者。指揮者という視点からみた、理想的なリーダーシップとは。

新着 CD&DVD

◆朗読CD入荷しました! (CD640)

『狐火 鬼平犯科帳より』 池波正太郎/著 三好翼/朗読 ことのは出版

『薄闇の桜』 永井路子/著 神谷尚武/朗読 ことのは出版

『釈迦』 瀬戸内寂聴/原作 榎木孝明/朗読 新潮社

『泣く母』 藤沢周平/原作 中村梅雀/朗読 新潮社

『不忠臣蔵』 井上ひさし/原作 小沢昭一/朗読 新潮社

他にもありますので、詳しくはAVコーナーで配布しているチラシや、ホームページの「あたらしくはいった本」をご覧ください!

◆DVD

『オデッセイ』 リドリー・スコット/監督 20世紀FOX (DV778 オ) <映画>

『インビクタス』 クリト・イストウッド/監督 ワーナー (DV778 イ) <映画>

『軍艦島よ永遠に』 NHKエンタープライズ (DV219 グ) <ドキュメンタリー>

『手にことばを 手話で話そう 全3巻』

ティチクエンタテインメント (DV378 テ) <手話>